

戦争責任などなど

このところ、零戦も特攻隊も書けないでいる。実は、いろんな資料がでてきて、それを読むことに時間を費やされて、まとめきれません。もう少し待ってください。これに並行して、日米戦争や、アメリカが当時の日本にしてきたことを読んでいます。頃は8月中旬、つまり敗戦記念日の話がいっぱいでてくる時である。TVでも新聞でも騒ぎまくっている。ボクの印象では、まさに「鬼畜米英」です。

TVでも、「なぜ日本は戦争をしたのか？」などというバカな副題がついている。答えは、ひとこと。「アメリカが日本に戦争を仕向けるようにした」。ルーズベルトの責任は重い。さらに共産主義者の暗躍である。

いずれ、このあたりのことをまとめますが、決して東京裁判のように「日本が一方的に侵略したのではない」ことを証明したい。大体、流れはわかってきたつもりです。「侵略」の定義は確立していないようだが、「日本軍による侵略」はなかったのです。

それはともかく、先日、奇遇とでも言うべき話があって、ボクのところに通院してくださっている方がいる。ボクの学生時代の教授の弟さんで、来られたときに「ご兄弟か近縁の方に『和子さん』という方はおられますか？」と尋ねたところ、その場では、いやどうも記憶にない、というお返事だった。広島に白島に病院があって、このとき原爆で娘さんが亡くなられている。「アーッ、ハクシマ！！」と叫ばれた。本を見せて、ここに書いてあるのですが………零戦のデビューから戦後までご存命で、人格者だった進藤三郎少佐の奥様のことである。早速この本を買われたらしく、改めて電話をいただいた。「和子は、A教授の妹ですわ」広島に90歳くらいの姉がいて、早速送ってやろうと思います。なにせ、知った名前（つまり普段無沙汰している懐かしい名前）が次々にでてくるんですワ。……若い頃のことを思い出されたようで、声はずんでいいる。ちょっと興奮されていたかもしれない。

残念ながら、ボクは進藤三郎氏にお会いしたことはないが、これで知己になったような気がした。

このとき、先日亡くなられた高名な作家の婚約者だった和子さんの姉

が原爆で亡くなられている。・・・・・・これは、どこにも書かれていない。

この方が、「悪いことをしたらアカンですなあ」としみじみと語られた。

2015.08.21.

(ここに書くことの承諾は得ています。)

今月は、「最近書かれていないようですが・・・」と催促されたため、
なんとか繋ぎのために書いたものです。